

研修会報告

平成 30 年 9 月 22 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「呼吸機能検査の基礎と臨床」

開催日時 平成 30 年 9 月 22 日（土）14：00 ～16：20

会場 仙台厚生病院 熊谷・海老名ホール

・講演 1「呼吸機能検査の基礎～データの見方・考え方～」

チェスト株式会社 西貝 学 先生

座長 坂総合病院 奥山 由紀

・講演 2「呼吸器診療の実際」

東北大学病院 小川 浩正

座長 石巻市立病院 佐竹 真希子

生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員 68 名 非会員参加者 3 名 計 71 名

内容

今回の研修会は「呼吸機能検査の基礎と臨床」をテーマに、スパイロメトリーの検査法から呼吸生理、病態の考え方まで幅広く学べる内容であった。

講演 1「呼吸機能検査の基礎～データの見方・考え方～」では、まさに基礎的事項から詳しく講演して頂いた。通常は座位で検査を行うが、検査時の後傾や前傾姿勢が値に及ぼす影響や、被験者への掛け声のポイントを分かりやすく学ぶことができた。また、SVC、FVC、FRC、DLCO について各パラメータの意義や考え方を解説頂き、初級者から中級者まで大変有意義な内容であったと思われる。

講演 2「呼吸機能診療の実際」では呼吸生理や換気・拡散障害の病態について解説して頂いた。呼吸生理学の理解は呼吸機能検査を担当する検査技師として必要不可欠であるが、これらを学ぶ機会のごく限られる。そういった意味でも今回の講演は大変意義深いものであったと考える。フローボリューム曲線のパターンから神経筋疾患や声帯機能不全、肥満を見分ける要点など、日常検査の一助となる有益な知識が得られる内容であった。また、臨床医の立場から検査の意義や治療への応用を詳細に解説頂くことで、技師が検査時に考慮すべきポイントもより明確になった。

呼吸機能検査の研修会は県内でも限られており、本研修会は多くの参加者にとって有益なものであると考える。ただし質疑応答では会場からの発言が少ないのが現状である。若手を含めた会員が積極的に参加し、楽しく学べる生理検査研修会を多く開催していきたい。